

「市民と図書館～ともに図書館のすそ野を広げていくために～」

『市民の図書館』の刊行とその後の実践は、住民の期待と要求を拠りどころに図書館を大きく発展させました。しかし今、人口減少や社会インフラの老朽化等、戦後の成長トレンドとは大きく異なる環境変動に私たちを見舞われています。これから図書館は、私たちの自立と社会の健全性をどのように支援できるでしょうか。その図書館のあり方を、主権者である市民と図書館が向き合い、ともに考え、つくり合うことを、講演と対話を通して考えたいと思います。



日時：2026年3月15日（日）13:00～16:30（12:30開場）

会場：日本図書館協会研修室（東京都中央区新川1-11-14 東京メトロ茅場町駅 徒歩5分）

第1部 『市民の図書館』の振り返りと市民が語る図書館への思い

1 講演「市民と図書館：『市民の図書館』の到達点と課題」

講師：嶋田学氏（市民と図書館の未来プロジェクトチーム主査、図書館政策企画委員会委員、京都橘大学文学部歴史遺産学科・教授）

2 講演「市民にとっての図書館、市民のための図書館とは」

講師：阿曾千代子氏（図書館友の会全国連絡会 代表、図書館とともにだち・鎌倉）

3 講演「公共図書館が、未来に向かって市民の自治をともに育てる」

講師：大石正人氏（多摩市の図書館をともに育てる会 代表）

4 講演「公共図書館は『市民の図書館』となっているか？」

講師：岡本正子氏（川崎市市民・図書館利用者、図書館政策企画委員会委員）

5 報告「図書館と地域メディアの連携による読書活動支援」

報告者：佐藤壯広氏（図書館政策企画委員会委員、山梨学院大学 特任准教授）

第2部 「これからの市民と図書館のあり方について：課題と展望」

～「市民と図書館の未来プロジェクト」に向けた市民対話～

1 趣旨説明 コーディネーター：嶋田学氏

2 報告「市民と図書館の未来プロジェクト」 報告者：「市民と図書館の未来プロジェクト」プロジェクトメンバー：西村優子氏（瑞穂町図書館）

3 「これからの市民と図書館のあり方について：課題と展望 「市民と図書館の未来プロジェクト」に向けた市民対話」 講演・報告者、参加者との質疑応答、意見交換

◇開催方法：会場（定員60名、申込先着順）／オンライン（定員60名、申込先着順）

◇参加費：会場＝資料代500円（会場受付にてお支払い）／オンライン＝無料

◇申込方法：件名「3.15図書館セミナー」と明記し、以下を記載の上、E-mailでお申し込みください。

1 氏名、2 所属、3 連絡先（電話またはE-mail）、4 参加方法（会場またはオンライン）、5懇親会への参加希望（希望者のみ事前申し込み（20名まで）：参加費4,000円程度・当日お支払い）

*申込期限：3月9日（月）12:00（定員になり次第締切）

◇問合・申込先：日本図書館協会・秦 TEL. 03-3523-0816 E-mail : kikaku@jla.or.jp